



2021年3月期 中間決算概要

2020年11月26日

会社名 セコム損害保険株式会社
 U R L <https://www.secom-sonpo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長
 半期報告書提出予定日 —
 中間決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 非上場

(氏名) 中村 毅
 (氏名) 石川 善朗 (TEL)03(5216)6102

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期中間期の業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	正味収入保険料		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期中間期	26,305	3.7	△ 1,719	—	△ 1,422	—
2020年3月期中間期	25,370	4.4	△ 617	—	△ 437	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益	自己資本 中間純利益率	正味損害率	正味事業費率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期中間期	△ 8.84	—	△ 4.8	46.9	34.4
2020年3月期中間期	△ 2.72	—	△ 1.4	45.5	33.7

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期中間期	221,939	30,096	13.6	187.11
2020年3月	215,647	29,690	13.8	184.59

(参考) 自己資本 2021年3月期中間期 30,096百万円 2020年3月 29,690百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月	—	3.00	3.00
2021年3月	—		
2021年3月(予想)		3.00	3.00

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	正味収入保険料		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,806	2.3	774	1,240.3	525	6.9	3.26

(注) 直近で公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当中間期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期中間期	162,000,000 株	2020年3月	162,000,000 株
-------------	---------------	---------	---------------

② 期末自己株式数

2021年3月期中間期	1,154,800 株	2020年3月	1,154,800 株
-------------	-------------	---------	-------------

③ 期中平均株式数(中間期)

2021年3月期中間期	160,845,200 株	2020年3月期中間期	160,845,200 株
-------------	---------------	-------------	---------------

※ 本中間決算概要は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2021年3月期中間期 損益状況

(単位:百万円)

科目		期別	前中間会計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)	当中間会計期間 (自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日)	比較増減	増減率
元受正味保険料(含む収入積立保険料)			31,470	33,474	2,003	6.4
(元受正味保険料)			(30,714)	(32,460)	(1,746)	(5.7)
経常	保険引受収益		26,358	27,514	1,155	4.4
	(うち正味収入保険料)		(25,370)	(26,305)	(935)	(3.7)
	(うち収入積立保険料)		(756)	(1,013)	(257)	(34.0)
	保険引受費用		23,762	25,302	1,539	6.5
	(うち正味支払保険金)		(10,096)	(10,748)	(652)	(6.5)
	(うち損害調査費)		(1,443)	(1,600)	(156)	(10.8)
	(うち諸手数料及び集金費)		(3,840)	(4,248)	(408)	(10.6)
	(うち満期返戻金)		(1,713)	(2,009)	(296)	(17.3)
	(うち支払備金繰入額)		(4,601)	(4,378)	△ 223	△ 4.9
	(うち責任準備金繰入額)		(2,047)	(2,301)	(253)	(12.4)
損益	資産運用収益		1,849	1,141	△ 707	△ 38.3
	(うち利息及び配当金収入)		(1,265)	(1,104)	△ 161	△ 12.8
	(うち有価証券売却益)		(814)	(231)	△ 583	△ 71.6
	資産運用費用		261	194	△ 67	△ 25.8
	(うち有価証券評価損)		(261)	(194)	△ 67	△ 25.7
	営業費及び一般管理費		4,801	4,889	87	1.8
(保険引受に係る営業費及び一般管理費)		(4,703)	(4,790)	(87)	(1.9)	
その他の経常損益			1	11	10	812.3
経常利益			△ 617	△ 1,719	△ 1,101	—
(保険引受利益)			(△ 2,091)	(△ 2,541)	(△ 449)	(—)
特別損益	特別利益		—	—	—	—
	特別損失		45	45	0	0.4
	特別損益		△ 45	△ 45	△ 0	—
税引前中間純利益			△ 662	△ 1,764	△ 1,101	—
法人税及び住民税			49	22	△ 26	△ 54.1
法人税等調整額			△ 273	△ 364	△ 90	—
法人税等合計			△ 224	△ 342	△ 117	—
中間純利益			△ 437	△ 1,422	△ 984	—
諸比率			%	%		
	正味損害率		45.5	46.9		
	正味事業費率		33.7	34.4		

(注)

1. 保険引受利益=保険引受収益-(保険引受費用+保険引受に係る営業費及び一般管理費)±その他収支
なお、その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税相当額などであります。
2. 正味損害率=(正味支払保険金+損害調査費)/正味収入保険料×100
3. 正味事業費率=(諸手数料及び集金費+保険引受に係る営業費及び一般管理費)/正味収入保険料×100

種目別保険料・保険金

①元受正味保険料(除く収入積立保険料)

(単位:百万円)

種別	期別	前中間会計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)			当中間会計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)		
		金額	構成比	対前年増減率	金額	構成比	対前年増減率
火災	災害	14,563	47.4	9.9	15,477	47.7	6.3
自損	自動車	246	0.8	△ 4.0	234	0.7	△ 4.9
自動車損害賠償責任		4,316	14.1	5.5	4,643	14.3	7.6
満期戻金	総合	534	1.7	△ 1.1	415	1.3	△ 22.3
費用	利益	78	0.3	7.7	120	0.4	53.8
その他		9,040	29.4	7.0	9,685	29.8	7.1
その他		1,935	6.3	△ 0.7	1,884	5.8	△ 2.6
合計		30,714	100.0	7.3	32,460	100.0	5.7
(収入積立保険料)		(756)		(△ 7.4)	(1,013)		(34.0)

(注) 費用利益種目の主なものは「自由診療保険メディコム」であります。

②正味収入保険料

(単位:百万円)

種別	期別	前中間会計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)			当中間会計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)		
		金額	構成比	対前年増減率	金額	構成比	対前年増減率
火災	災害	8,730	34.4	4.7	9,063	34.5	3.8
自損	自動車	231	0.9	△ 3.2	217	0.8	△ 6.0
自動車損害賠償責任		4,244	16.7	5.8	4,555	17.3	7.3
満期戻金	総合	1,235	4.9	2.2	1,025	3.9	△ 17.0
費用	利益	59	0.2	1.2	86	0.3	44.9
その他		9,040	35.6	5.6	9,685	36.8	7.1
その他		1,827	7.2	△ 2.7	1,670	6.4	△ 8.6
合計		25,370	100.0	4.4	26,305	100.0	3.7

③正味支払保険金

(単位:百万円)

種別	期別	前中間会計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)			当中間会計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)		
		金額	対前年増減率	正味損害率	金額	対前年増減率	正味損害率
火災	災害	4,080	△ 34.4	52.0	5,179	26.9	63.7
自損	自動車	96	0.3	56.1	94	△ 2.2	59.6
自動車損害賠償責任		2,429	5.0	71.0	2,231	△ 8.2	62.0
満期戻金	総合	1,043	△ 8.7	87.9	865	△ 17.1	88.6
費用	利益	21	31.5	46.1	20	△ 5.5	28.7
その他		1,879	22.6	23.8	1,994	6.1	23.5
その他		545	45.1	32.3	363	△ 33.3	24.5
合計		10,096	△ 13.7	45.5	10,748	6.5	46.9

(注) 正味損害率は正味支払保険金に損害調査費を加えて算出しております。

中間貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当中間会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
現金及び預貯金	46,407	50,401
有価証券	136,014	142,174
貸付金	759	683
有形固定資産	102	102
無形固定資産	8,754	7,982
その他資産	10,994	8,449
繰延税金資産	12,646	12,177
貸倒引当金	△ 32	△ 32
資産の部合計	215,647	221,939
負債の部		
保険契約準備金	175,716	182,396
支払備金	17,426	21,804
責任準備金	158,289	160,591
その他負債	3,886	3,098
未払法人税等	142	163
資産除去債務	55	55
その他の負債	3,689	2,878
退職給付引当金	2,178	2,256
役員退職慰労引当金	46	31
賞与引当金	553	440
特別法上の準備金	3,574	3,620
価格変動準備金	3,574	3,620
負債の部合計	185,956	191,842
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,808	16,808
資本剰余金		
資本準備金	2,814	2,814
資本剰余金合計	2,814	2,814
利益剰余金		
利益準備金	482	579
その他利益剰余金	2,752	751
繰越利益剰余金	2,752	751
利益剰余金合計	3,235	1,330
自己株式	△ 195	△ 195
株主資本合計	22,663	20,758
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,027	9,338
評価・換算差額等合計	7,027	9,338
純資産の部合計	29,690	30,096
負債及び純資産の部合計	215,647	221,939

中間損益計算書

(単位:百万円)

	前中間会計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)	当中間会計期間 (自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日)
経常収益	28,211	28,675
保険引受収益	26,358	27,514
(うち正味収入保険料)	25,370	26,305
(うち収入積立保険料)	756	1,013
(うち積立保険料等運用益)	231	194
資産運用収益	1,849	1,141
(うち利息及び配当金収入)	1,265	1,104
(うち有価証券売却益)	814	231
(うち積立保険料等運用益振替)	△ 231	△ 194
その他経常収益	4	19
経常費用	28,829	30,394
保険引受費用	23,762	25,302
(うち正味支払保険金)	10,096	10,748
(うち損害調査費)	1,443	1,600
(うち諸手数料及び集金費)	3,840	4,248
(うち満期返戻金)	1,713	2,009
(うち支払備金繰入額)	4,601	4,378
(うち責任準備金繰入額)	2,047	2,301
資産運用費用	261	194
(うち有価証券評価損)	261	194
営業費及び一般管理費	4,801	4,889
その他経常費用	2	7
経常利益	△ 617	△ 1,719
特別利益	—	—
特別損失	45	45
固定資産処分損	0	0
特別法上の準備金繰入額	45	45
価格変動準備金繰入額	45	45
税引前中間純利益	△ 662	△ 1,764
法人税及び住民税	49	22
法人税等調整額	△ 273	△ 364
法人税等合計	△ 224	△ 342
中間純利益	△ 437	△ 1,422

中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本							自己株式	株主資本 合計	評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			その他有 価証券評 価差額金			評価・換算 差額等合 計		
		資本準備 金	資本剰余 金合計	利益準備 金	その他利 益剰余金	繰越利益 剰余金					利益 剰余金 合計	
当期首残高	16,808	2,814	2,814	386	2,840	3,226	△ 195	22,654	11,256	11,256	33,910	
当中間期変動額												
剰余金の配当				96	△ 579	△ 482		△ 482			△ 482	
中間純利益					△ 437	△ 437		△ 437			△ 437	
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)									△ 2,015	△ 2,015	△ 2,015	
当中間期変動額合計	—	—	—	96	△ 1,017	△ 920	—	△ 920	△ 2,015	△ 2,015	△ 2,936	
当中間期末残高	16,808	2,814	2,814	482	1,823	2,305	△ 195	21,733	9,240	9,240	30,974	

当中間会計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本							自己株式	株主資本 合計	評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			その他有 価証券評 価差額金			評価・換算 差額等合 計		
		資本準備 金	資本剰余 金合計	利益準備 金	その他利 益剰余金	繰越利益 剰余金					利益 剰余金 合計	
当期首残高	16,808	2,814	2,814	482	2,752	3,235	△ 195	22,663	7,027	7,027	29,690	
当中間期変動額												
剰余金の配当				96	△ 579	△ 482		△ 482			△ 482	
中間純利益					△ 1,422	△ 1,422		△ 1,422			△ 1,422	
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)									2,310	2,310	2,310	
当中間期変動額合計	—	—	—	96	△ 2,001	△ 1,904	—	△ 1,904	2,310	2,310	405	
当中間期末残高	16,808	2,814	2,814	579	751	1,330	△ 195	20,758	9,338	9,338	30,096	

有価証券

1. 売買目的有価証券

該当事項はありません。

2. 満期保有目的の債券

前事業年度(2020年3月31日)

(単位:百万円)

	種類	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	公 社 債	10,724	12,124	1,400
	小 計	10,724	12,124	1,400
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	公 社 債	—	—	—
	小 計	—	—	—
合 計		10,724	12,124	1,400

当中間会計期間(2020年9月30日)

(単位:百万円)

	種類	中間貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	公 社 債	10,698	12,111	1,413
	小 計	10,698	12,111	1,413
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	公 社 債	—	—	—
	小 計	—	—	—
合 計		10,698	12,111	1,413

3. 子会社株式および関連会社株式

該当事項はありません。

4. その他有価証券

前事業年度(2020年3月31日)

(単位:百万円)

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	公 社 債	31,721	30,631	1,089
	株 式	17,461	9,032	8,429
	外 国 証 券	30,865	28,920	1,945
	そ の 他	1,188	791	396
	小 計	81,236	69,375	11,861
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	公 社 債	23,128	23,204	△ 76
	株 式	6,748	8,014	△ 1,265
	外 国 証 券	5,481	6,303	△ 822
	そ の 他	4,314	4,666	△ 352
	小 計	39,672	42,189	△ 2,516
合 計		120,908	111,564	9,344

(注) 時価を把握することが極めて困難と認められるその他有価証券は、上表に含めておりません。

当中間会計期間(2020年9月30日)

(単位:百万円)

	種類	中間貸借対照表 計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	公 社 債	37,164	36,195	969
	株 式	21,084	10,535	10,549
	外 国 証 券	22,579	21,678	900
	そ の 他	6,315	5,326	988
	小 計	87,145	73,736	13,408
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	公 社 債	18,948	18,997	△ 49
	株 式	5,801	6,320	△ 518
	外 国 証 券	9,793	10,119	△ 325
	そ の 他	104	130	△ 25
	小 計	34,647	35,567	△ 919
合 計		121,793	109,304	12,488

(注) 時価を把握することが極めて困難と認められるその他有価証券は、上表に含めておりません。

5. 事業年度中に減損処理を行った有価証券

前事業年度において、その他有価証券(時価を把握することが極めて困難と認められるものを除く。)について1,172百万円(うち、株式1,132百万円、その他40百万円)の減損処理を行っており、その他有価証券で時価を把握することが極めて困難と認められるものについて減損処理を行った銘柄はありません。

当中間会計期間において、その他有価証券(時価を把握することが極めて困難と認められるものを除く。)について191百万円(全て株式)の減損処理を行っており、その他有価証券で時価を把握することが極めて困難と認められるものについて3百万円(全て株式)減損処理を行っております。

なお、時価のある有価証券について、時価の簿価に対する下落率が30%以上の銘柄はすべて減損処理を行っております。

単体ソルベンシー・マージン比率

(単位:百万円)

区分	前事業年度 (2020年3月31日)	当中間会計期間 (2020年9月30日)	増減
(A) 単体ソルベンシー・マージン総額	65,340	67,194	1,854
資本金等	22,180	20,758	△ 1,422
価格変動準備金	3,574	3,620	45
危険準備金	39	39	—
異常危険準備金	30,058	31,019	960
一般貸倒引当金	32	32	—
その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益(税効果控除前)	8,409	11,239	2,829
土地の含み損益	△ 9	△ 9	0
払戻積立金超過額	—	—	—
負債性資本調達手段等	—	—	—
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等のうち、 マージンに算入されない額	—	—	—
控除項目	—	—	—
その他	1,054	495	△ 559
(B) 単体リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_2)^2 + (R_3 + R_4)^2} + R_5 + R_6$	18,813	19,907	1,094
一般保険リスク(R_1)	7,464	7,597	133
第三分野保険の保険リスク(R_2)	—	—	—
予定利率リスク(R_3)	217	206	△ 11
資産運用リスク(R_4)	8,753	10,193	1,440
経営管理リスク(R_5)	462	490	28
巨大災害リスク(R_6)	6,681	6,537	△ 144
(C) 単体ソルベンシー・マージン比率 [(A)/(B)×1/2]×100	694.5	675.0	△ 19.5pt

注. 「単体ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第86条(単体ソルベンシー・マージン)および第87条(単体リスク)ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出された比率です。

【単体ソルベンシー・マージン比率について】

- ・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立型保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・この「通常の予測を超える危険」に対して「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたものが、「単体ソルベンシー・マージン比率」です。
- ・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。
 - ① 保険引受上の危険
(一般保険リスク、第三分野保険の保険リスク) : 保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険(巨大災害に係る危険を除く)
 - ② 予定利率上の危険
(予定利率リスク) : 積立型保険について、実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
 - ③ 資産運用上の危険
(資産運用リスク) : 保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
 - ④ 経営管理上の危険
(経営管理リスク) : 業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記①～③および⑤以外のもの
 - ⑤ 巨大災害に係る危険
(巨大災害リスク) : 通常の予測を超える巨大災害(関東大震災や伊勢湾台風相当)により発生し得る危険
- ・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」とは、損害保険会社の純資産(社外流出予定額等を除く)、諸準備金(価格変動準備金・異常危険準備金等)、土地の含み益の一部等の総額です。
- ・単体ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に、経営の健全性を判断するために活用する客観的な指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされています。